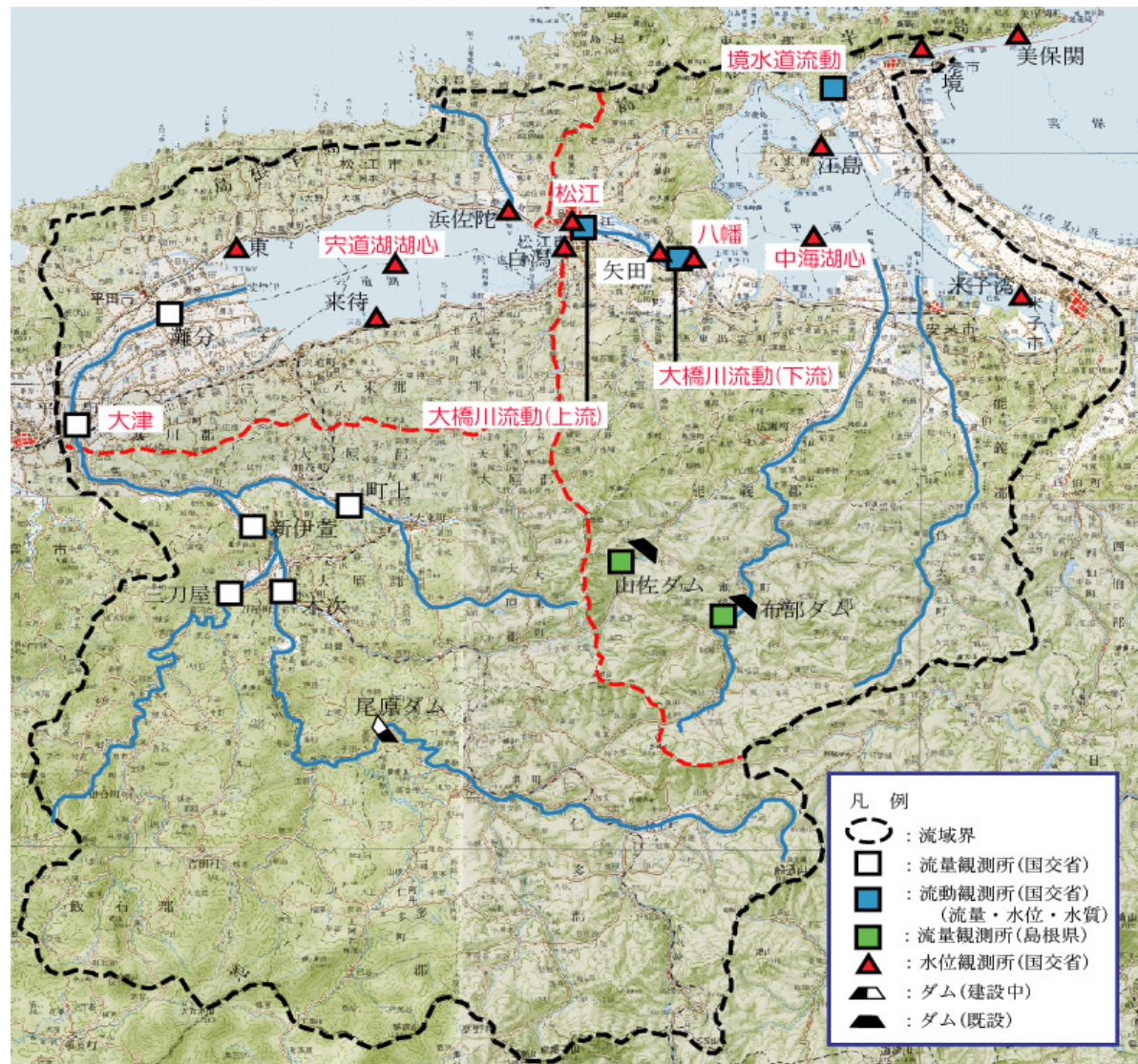


1.3 水象

1.3.1 調査実施状況

- ・流量の観測は斐伊川上流流域 6 地点、大橋川 2 地点、境水道 1 地点で実施している。
- ・水位観測は湖内の宍道湖 5 地点、大橋川 5 地点、中海 3 地点、境水道 2 地点と美保湾 1 地点の 16 地点において実施している。
- ・大橋川流動(上流・下流)、境水道流動の各観測所では、H-ADCP による流量および水位の観測を実施している。



※観測所地点名の赤字表示は、本資料において主に取り上げている地点を示した。

図 1.8 水象の調査実施状況

中海直接流入流域の流量は、飯梨川上流域の布部ダムおよび山佐ダムの流入・放流量が観測されている。

1.3.2 流況

(1) 斐伊川(大津地点)の流況

- ・斐伊川(大津地点)の近年 10 ヶ年(平成 6~15 年)の年平均流量は約 41m³/s であり、渇水年の平成 6 年が約 28m³/s と小さく、豊水年の平成 9 年が約 55m³/s と大きい。
- ・同じく月別平均流量は、融雪の影響による 1~4 月と梅雨・台風の影響による 7 月、9 月に多くなる。

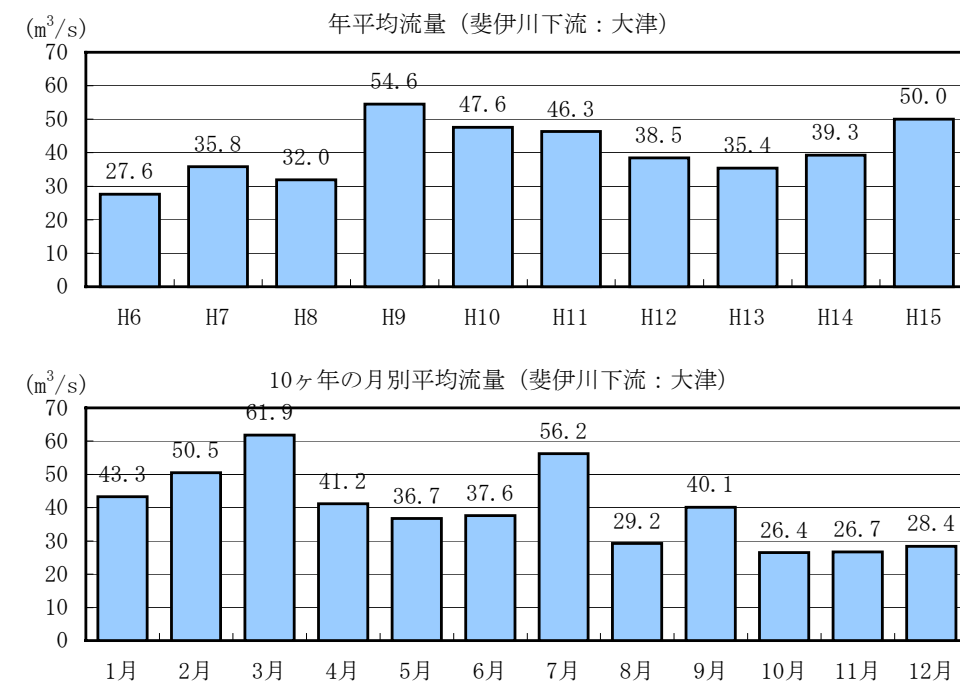


図 1.9 斐伊川(大津地点)の流況(平成 6 年~15 年)

(2) 大橋川（松江地点）の流況

- ・近年 10 ヶ年（平成 6～15 年）の平均流量は、順流で約 150m³/s、遡上（逆流）で約 100m³/s である。
- ・近年 10 ヶ年の順流時最大流量は H9 年 7 月出水時の約 730m³/s であり、遡上時最大流量は H6 年 12 月の約 470m³/s である。
- ・遡上 1 回あたりの松江通過水量は、10 ヶ年平均で約 250 万 m³/回であり、最大は H14 年 8 月（9/1 高潮時）の約 3,430 万 m³/回であり、平常時遡上量の約 14 倍である。

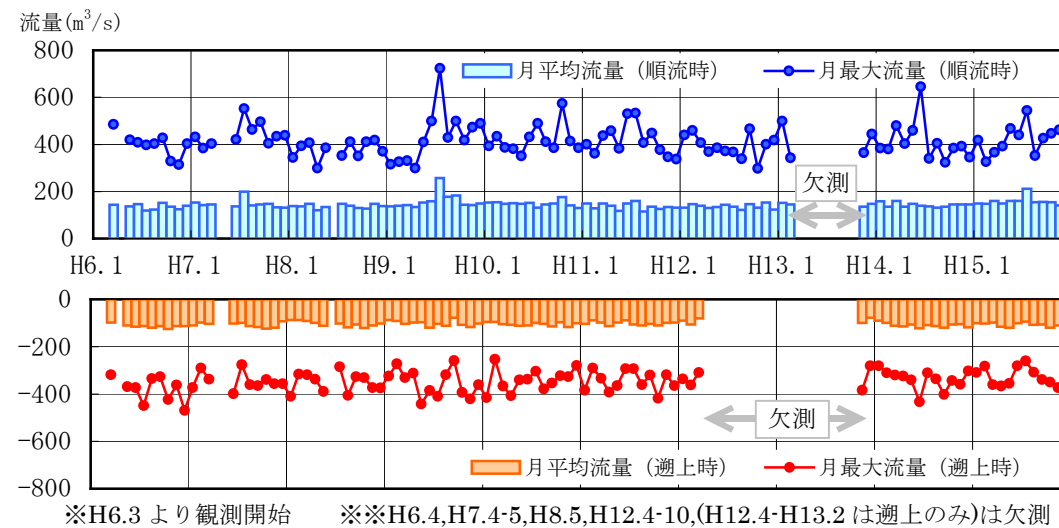


図 1.10 大橋川（松江地点）の月平均および月最大流量(時間)

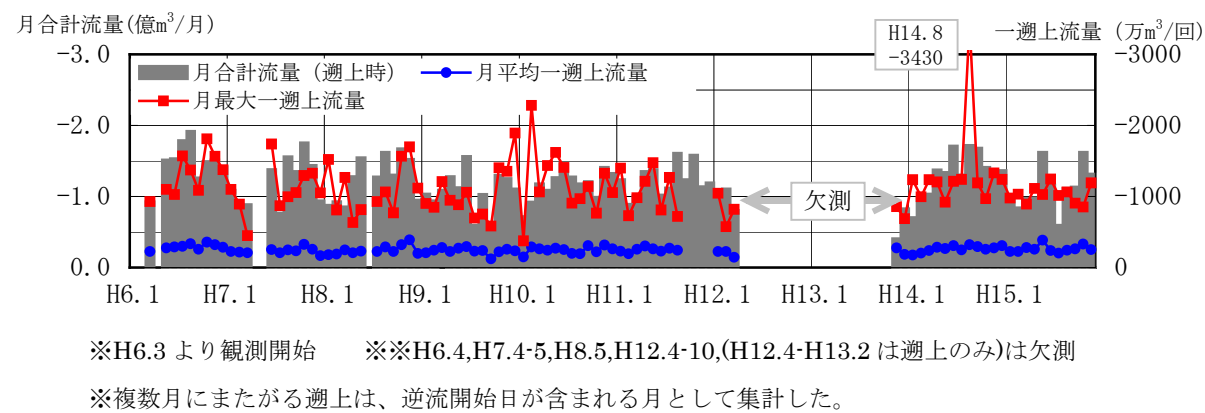


図 1.11 大橋川（松江地点）の遡上時流量（1 回遡上期間合計：月最大・平均・月合計）

1.3.3 湖内水位の変動特性

- ・平水時や高潮時の日本海潮位変動は、境水道を通じてほぼ減衰することなく中海に伝達されるが、宍道湖への伝達は大橋川を経由する過程で変動振幅の減衰、伝達時間遅れが生じている。
- ・洪水時の水位変動は、狭窄部となる大橋川の地形形状に起因して、宍道湖ではより大きな貯留効果が生じている。

中海は境水道を通じて日本海と、宍道湖は大橋川を通じて中海とつながる連結系汽水湖である。図 1.12 は宍道湖～大橋川～中海～境水道の各水位観測所における、平水時、洪水時および高潮時の水位変動を示したものである。

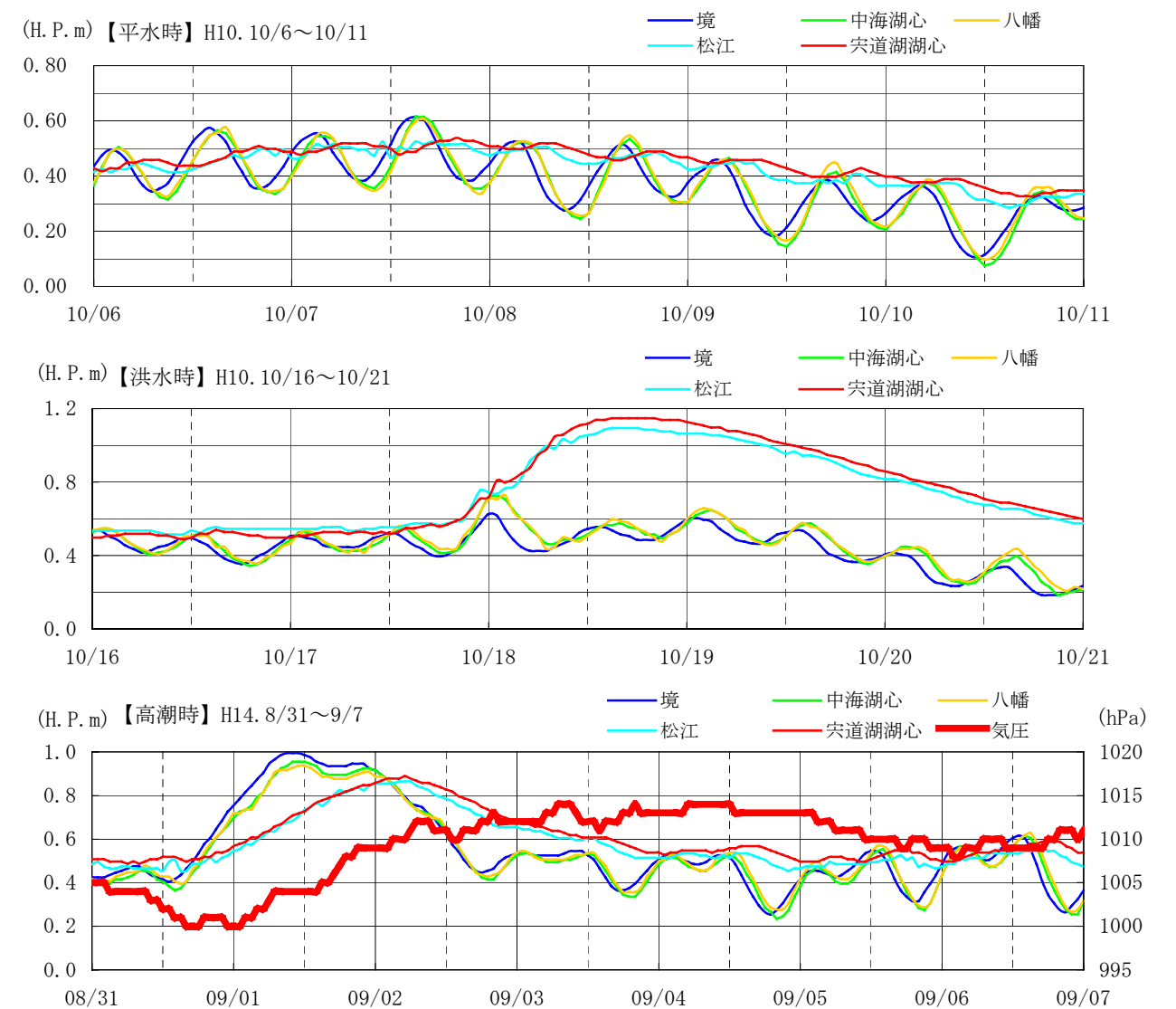


図 1.12 水位変動特性